

「バウンダリー」って知っていますか？

「バウンダリー」とは、人と人の「心の境界線」のことをいうそうです。
実は、「心の境界線」という言葉も、私には聞きなれない言葉でした。
私がこの言葉に出会ったのは、神奈川県青少年センターで行われた、
昔、不登校だった子どもや親のシンポジウムでの発言でした。

ある親御さんが言いました。
元気に面白いことばかり言っていた子どもが突然学校に行けなくなった。
学校に行くのが「普通」と思い込んでいた私は、言うことを聞かない子どもに
物を投げつけるほど、ひどい親だった。子どもも私も苦しんだ。
不登校の親の会に行ってから、私は変わった。
私は自分のために子どもを学校に行かせようとしていたのではないか。
自分と子どもとの「心の境界線」が混乱していたことに気づかされた。
子どもには子どもの人生があり、私には私の人生がある。
「あなたは、あなたの人生を生きればいい」と思えるようになった。

私自身も、この年になって、息子と私の「心の境界線」が混乱するときがあります。
その原因の多くが、私の余分な「愛」や「心配」なのです。
「親だからいろいろ心配するのはしょうがない」と思いつつ、心が乱れます。
「心の境界線」という考え方を知ってから、子どもに対してイライラした時は、
「それぞれの人生を、それぞれが生きればいい」と考えるようにしています。

このようなことを学ぶ「バウンダリー」講習会がいろいろなところで始められています。
私たちが共同運営している川崎市子ども夢パークでも 11月24日から3回の予定で
わたしとあなたを“たいせつ”にできる「境界」
というテーマで講座が開かれます。
興味がありましたら、どうぞ、お申し込みください。(M.Y)

子どもの居場所に関わる大人の養成基礎講座（バウンダリー編）
<http://home.b05.itscom.net/tama/hyoshi/boundary2018.pdf>